

生駒市市政顧問が従事した職務の遂行に係る情報

議 題	商工観光
日 時	令和 5年11月29日(水) 10:00 ~ 12:00
場 所	特別会議室
出 席 者	藤沢市政顧問 小紫市長、山本副市長、領家地域活力創生部長、岡村地域活力創生部次長、岸本商工観光課長、金子SDGs推進課長、増田企画政策課企画官
主な意見 (概要)	<p>○商工観光施策の概要及びスタートアップ支援、生駒山ブランド化の取り組み状況等を説明。</p> <p>○顧問の主な意見(コメント)は以下の通り</p> <p>●先端大との連携協定に基づくスタートアップ支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学の研究シーズは豊富だが、起業を志向している先生は少なく、研究志向が強い印象。大学から起業希望者を出してもらうというよりは、市から個別に先生に積極的に働きかける機会を作ってもらった方が効果的かもしれない。 ・それ以外の方法としては、起業可能な研究シーズの発掘について、ベンチャーキャピタルやアクセラレーターというより、実際に海外などでベンチャーを起業してエンジェル(投資・支援側)になっているような人にシーズを観てもらう機会を作った方が効果的と感じる。 <p>●生駒山ブランド化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポテンシャルは高尾山にも負けていない。むしろ大阪市内から近い。ただ、よく市でアピールしている「難波、梅田から何分で来られる」というよりも、「京都、新大阪、伊丹・関空」からのアクセスをアピールする方が外国人等の旅行者にはよいと思う。 ・まずは、生駒山を周遊するための遊び、食などのスポットをきれなくマッピングして、周辺にあるお店とか行ける場所の見える化を徹底的にしてプロットするとよい。地図に載せてみることで、来た人がそれを取捨選択してくれるはず。山を走る人がいるのなら、その方たち向けのマップもあった方がいい。